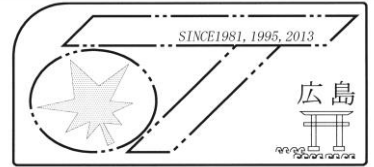


認知症作業療法 活動報告 (概要)

広島県作業療法士会では、士会役員及び事務局員、大学等学術経験者・認知症疾患医療センター設置施設の会員で社会貢献部内に認知症OT推進担当を設けている。



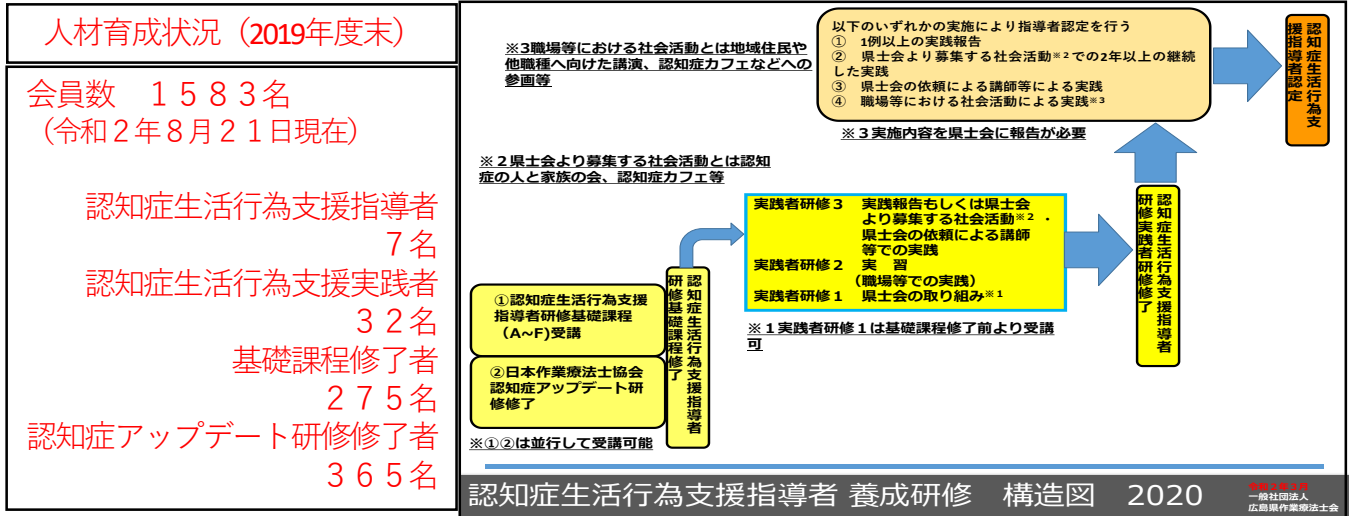
認知症OT推進担当部員を中心に認知症生活行為支援指導者研修を運営し人材育成を軸とした「研修」、関係機関からの要請に基づいた会員の紹介などの連携、福祉祭りなどの活動を通じた啓発活動や相談を行う「地域支援」、大学などとの連携による新たな介入方法についての検討、検証などを行う「研究」の活動を展開している。

研修

認知症生活行為支援指導者研修基礎課程（テーマA~F）、実践者研修、認知症アップデート研修を二次医療圏域4か所に振り分け各1回開催する。研修は下記の運用マニュアル・研修シラバスをもとに運営している。一般社団法人 広島県作業療法士会認知症生活行為支援指導者研修制度運用マニュアル・研修シラバス 第2版



<http://hiroshima-ota.kir.jp/wp-test/wp-content/uploads/2020/03/97352d2b4ea847058b104a87acd372cb-1.pdf>



地域支援

- ・関係機関からの要請に応じた会員の紹介等、情報の提供や共有
- ・若年性認知症支援ネットワーク会議委員への会員派遣
- ・行政機関との連携による認知症カフェへの運営への会員の派遣 → 計11回延べ33名の派遣
- ・福祉祭り等での県民への啓発、相談活動 (右写真)



研究

- ・県立広島大学の域課題解決研究での連携

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会広島支部の若年性認知症のつどい「陽溜まりの会」への会員の派遣を中心に連携を行っている。2019年度は県内3か所の「陽溜まりの会」へ計14回延べ33名の派遣、家族の会大会の運営への参加の協力を行った。2020年度も継続して会員の派遣、山口県支部との交流会の企画などを協働している。

COVID-19 (新型コロナウイルス) の影響・対応など

認知症カフェ等地域での活動の休止や縮小、多くの会員が感染対策に伴う活動への制限が出ている。課題として『実施されている活動への会員の派遣調整』『感染対策と活動の並行を図ること』などが出ているが関係機関と連携しながら対応している。また自粛生活に伴う生活不発な状態や認知機能の低下予防などへの対応としてホームページでの情報発信を行っている。